

平成30年2月7日

「大震災後の福島県の教育復興を進める会」
2017年度シンポジウム

福島の再生と学校

東日本大震災から約7年が経過し、地域を始めとして学校教育を取り巻く環境も当時から大きく変化しました。震災前の日常を取り戻した学校もあれば、復興の途上にある学校、そして未だ先を見通すことが難しい学校も存在します。いずれの地域や学校にも共通して必要なのは「震災からの学びを生かすこと」であることはいうまでもありません。

本シンポジウムでは、いわき総合高校での演劇教育への取り組みに学ぶとともに、地域の特性を生かしてコミュニティ・スクールを運営する大玉村、コミュニティの再生に取り組むなかで学校を再開した楢葉町、また、教育環境の充実に向けて義務教育学校の構想をもつ川内村という県内の三つの町村から報告を受け、これからの福島の復興と教育について思いを馳せたいと考えます。

日時：2018年3月3日(土) 13:00～16:30

場所：コラッセふくしま 4階 多目的ホール
(福島市三河南町1-20)

主催：「大震災後の福島県の教育復興を進める会」

福島県市町村教育委員会連絡協議会、福島県都市教育長協議会、
福島県町村教育長協議会、福島県 PTA 連合会、福島県小学校長会、
福島県中学校長会、福島県公立学校退職校長会、
福島大学人間発達文化学類同窓吾峰会、福島大学

詳細につきましては、別添チラシをご参照ください。

(お問い合わせ先)

福島大学人間発達文化学類支援室長 渡辺能仁

960-1296 福島市金谷川1番地

TEL:024-548-8101 / FAX:024-548-3181

E-Mail:y-wata@adb.fukushima-u.ac.jp

＜福島県の教育復興をすすめる会＞ 2017年度シンポジウム

福島の再生と学校

2018年3月3日（土） 13時～16時30分

コラッセふくしま 4 F 多目的ホール

どなたでも参加できます 参加費無料

講演

表現教育は何を目指すのか いしいみちこ氏

講師プロフィール：いしいみちこ(石井路子) ドラマティチャー

2004年から福島県立いわき総合高校にて演劇教育を実践。教育を受けた高校生にプロの劇作家・演出家との出会いをプロデュースし、成果発表公演を行う。
2013年プロデュース作品 飴屋法水／作・演出『ブルーシート』は第58回岸田戯曲賞を受賞。

2014年からは大阪府の追手門学院中高等学校にて表現コミュニケーションコースを立ち上げ、俳優・ダンサー養成目的ではない表現教育を行っている。

著書『高校生が生きやすくなる演劇教育』(立東舎)

アンケート結果

「震災後の学校状況調査」(2018年1月実施)
の結果について 福島大学 中田文憲

シンポジウム

コミュニティの再生と学校

＜シンポジスト＞

「コミュニティ・スクール」大玉村の取り組み

大玉村教育長 佐藤吉郎氏

学校再開の課題

榎葉南小学校校長 鈴木孝彦氏

義務教育学校の構想について

川内村村長 遠藤雄幸氏

お問い合わせ

大震災後の福島県の教育復興を進める会

福島大学人間発達文化学類支援室内

tel : 024-548-8101

